

全国学力・学習状況調査を活用した
授業づくり参考資料
【小学校】



掲載事例

【国語】

- ・物語を読んで、推薦する(那須田淳「銀色の幻想」) 2 二
- ・経験を基に考えたことを書く 3 一

【算数】

- ・目的に応じて数量の関係に着目し数の処理の仕方を考察すること(買い物) 1 (4)
- ・二つの数量の関係について考察すること(果汁の割合) 2 (3)
- ・目的に応じてデータの特徴や傾向を捉え考察すること(お楽しみ会・交流会) 3 (3)

【理科】

- ・粒子に関する問題(自然の事物・現象を気付きの視点で分析・解釈) 2 (4)
- ・エネルギーに関する問題(実験で得た結果を問題の視点で分析・解釈) 3 (4)
- ・地球に関する問題(自然の事物・現象の理解) 4 (4)

活用にあたって

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の問題から考えられる「授業づくり」のポイントや、指導の手だての例を掲載しています。子どもたちへの指導の参考例としてご活用ください。

大阪府教育センター 令和4年11月

活用のポイント例

自校の状況をもとに考えよう

「1. 問題の概要」を活用して

「出題の趣旨」や「学習指導要領の内容」、「評価の観点」から

「どのような力をつけるのか」をつかみましょう。

資質・能力

「正答の条件」や「正答例」から

「どのような姿をめざすのか」をつかみましょう。

「2. 児童の状況(解答類型抜粋)(質問紙調査)」を活用して

「解答類型」や「経年比較のグラフ」から

「どのような姿なのか」をつかみましょう。

具体的な児童の状況

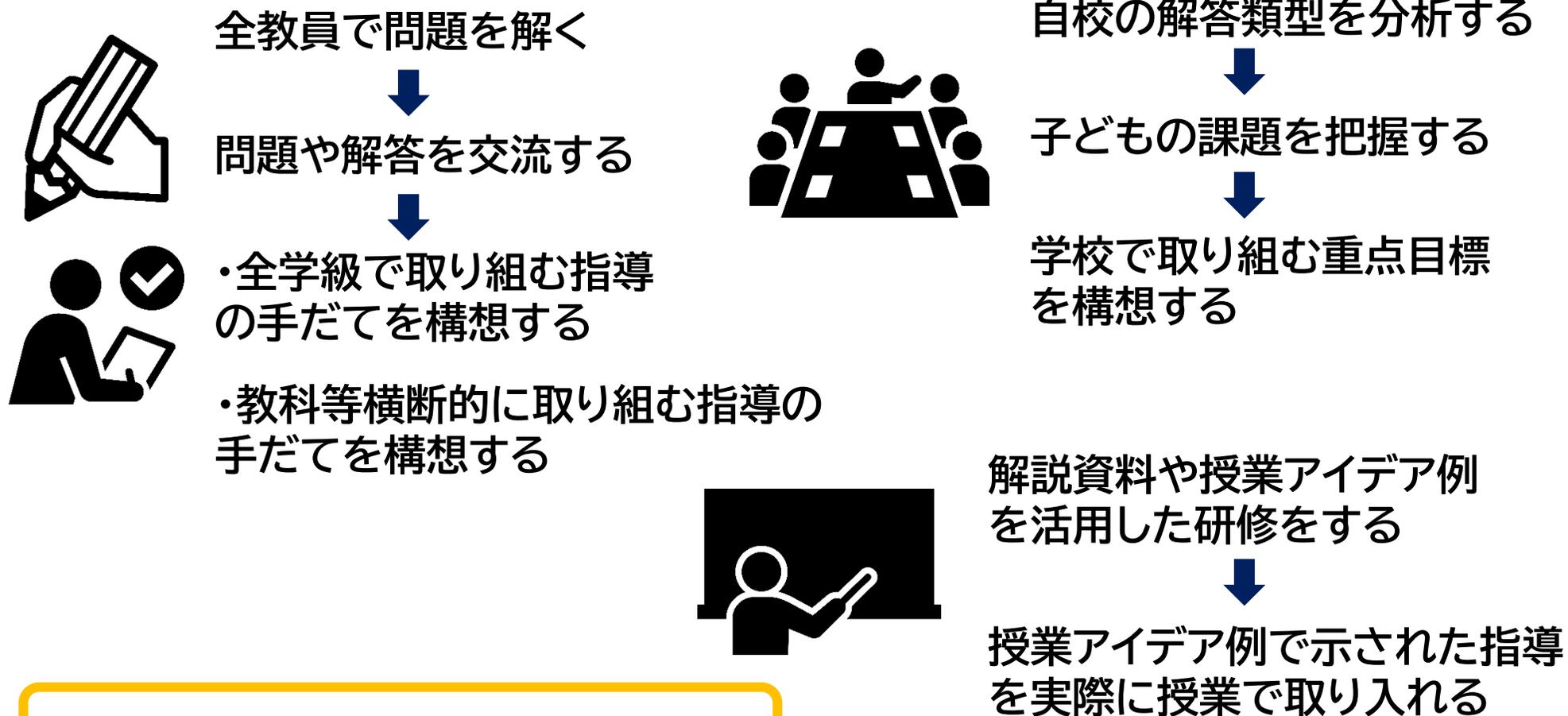
「3. 授業づくりのポイント」を活用して

「授業づくりのポイント例」から

「どのような指導ができるのか」をつかみましょう。

指導の手だて

全国学力・学習状況調査の活用例



参考

文部科学省 調査結果の活用・分析の取組

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1344286.htm

国立教育政策研究所「教育課程研究センター」全国学力・学習状況調査

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

1. 問題の概要

出題の趣旨

人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。

学習指導要領の内容 第5学年及び第6学年 C読むこと 工

人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

評価の観点

思考・判断・表現

森田さんが、物語を推薦する理由として前向きな気持ちになることを挙げており、それが、「老人」に出会った『ぼく』を通して物語から伝わってくる「ぼく」があるからと考えていることを捉える必要がある。「こ」では、「ぼく」と「老人」の相互関係や「ぼく」の人物像などから物語の全体像を具体的に想像し、この物語から伝わってくることをまとめることが求められる。

〈正答例〉
 ・夢を持ち続けられれば、いつかかなえられるという事です。
 ・今を大切にすることが明るい未来につながるという事です。
 ・好きなことをもつ大切な事です。

② 森田さんは、物語から伝わってくることをまとめ、せいせんする文章を書いています。次は、『森田さんの文章』です。あなたが森田さんなら、Aに入る内容をこのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【森田さんの文章】
 「これは、過去や未来にいけるうちゅう船を作りたいと思っている『ぼく』と、そんなうちゅう船を作った『老人』の物語です。
 この物語は、『老人』が『ぼく』がもしれないと思わせる表現を探して読む楽しさを味わうことができます。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは前向きな気持ちになります。なぜかというと、『老人』に出会った『ぼく』を通して、『この物語が私に伝えてくれることがあるからです。それは、
 A
 』です。」

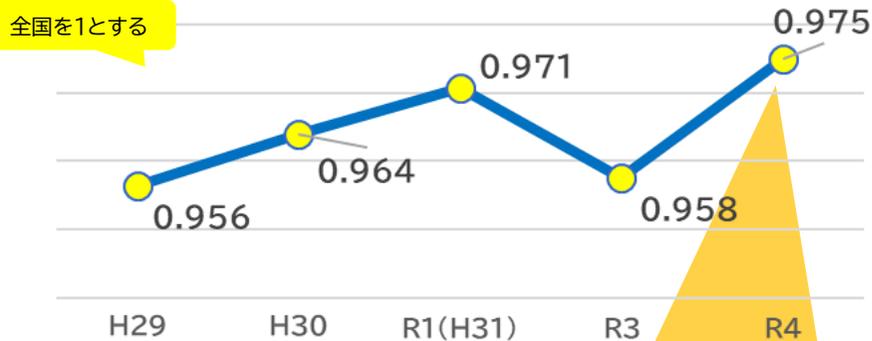
〈条件〉
 ①この物語から伝わってくることを考えて書くこと。
 ②十字以上、三十字以内にもまとめて書くこと。

全国比 1.00

	大阪府	全国
正答	68.0	68.3
無解答	12.5	12.2

2. 児童の状況 (「読むこと」の領域の正答率の推移)

「読むこと」の正答率対全国比



長期的に見ると、「読むこと」の領域の問題の正答率は、右肩上がりに全国に近づいていると捉えることができる。

3. 授業づくりのポイント

- ✓ 読んだり考えたりする目的やねらいを明らかにして考えさせましょう。
 例: 学習過程を確認し、系統性を踏まえて言語活動を設定し、意図的・計画的に指導する。
- ✓ 見通しをもって読ませましょう。
 例: どの人物に沿って読むのか、目的に向かうにはどんな情報が必要なのかを考えながら読むように指導する。
- ✓ 文章の全体像を考えさせましょう。
 例: 何が書かれているかだけでなく、どのように書かれているかなどに着目して読むように指導する。

【小学校国語】 3 一 経験を基に考えたことを書く

1. 問題の概要

出題の趣旨

文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。

学習指導要領の内容 第5学年及び第6学年 B 書くこと オ

文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

評価の観点

思考・判断・表現

（文章2）
 わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。
 そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子を、ア、ろくがして、各学級にしようかいしたそうです。
 この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、イ、はんせいしました。
 わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人も、ウ、したしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

文や文章を整えるためには、文章全体の構成や、書き表し方に着目して推敲することが必要である。ここでは、島谷さんが自分の考えが明確に伝わるように、文章全体の構成に着目して文章を整え、自分の考えを最初に書いていることを捉えることが求められる。

1の正答は、自分の考えが明確に伝わるように、文章全体の構成に着目して文章を整え、自分の考えを最初に書いていることを捉えることができている。

島谷さんは、「文章2」の「自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。」の部分をもっと気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

① ② ③ ④
 1 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
 2 自分の考えが明確に伝わるように、引用すること、書き出しをくふうしている。
 3 他の人が読みやすいように、事実と感想を区別して、書き出しを書いている。
 4 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

2. 児童の状況（解答類型抜粋）

正答	解答類型	大阪府	全国	全国比
1	1と解答しているもの	56.3	59.2	0.95
2	2と解答しているもの	16.2	15.4	1.05
3	3と解答しているもの	7.9	7.5	1.05
4	4と解答しているもの	16.7	15.1	1.11
99	上記以外の解答	0.2	0.2	1.00
0	無解答	2.7	2.5	1.08

「文章全体の構成に着目して文章を整えていること」を捉えていることができていない。

「考えの理由を最初には書いていないこと」を捉えることができていない。

3. 授業づくりのポイント

- 自分の文章のよさに気づかせるようにしましょう。**
 例：書いた文章を振り返る際には、改善点だけでなく、自分の表現のよさにも着目できるように指導する。また、他者の文章のよいところだけでなく、自分の文章のよいところを見付ける活動を取り入れ、書くことの楽しさや有用性を実感できるように指導する。
- 観点を明確にして、自分で書いた文章を整えさせましょう。**
 例：例えば5、6年生においては、内容や表現に一貫性があるか、目的に照らして適切な構成や記述になっているか、事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方や区表やグラフの用い方は適切か等、指導事項に照らした観点を明確にして文章を整えるように指導する。
- 見通しをもって書く活動に取り組みせましょう。**
 例：誰に、何のために書くのか、相手意識や目的意識を明確にして言語活動を設定し、見通しをもって書くことができるように指導する。

【小学校算数】 1 (4) 目的に応じて数量の関係に着目し数の処理の仕方を考察すること (買い物)

(85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ)

1. 問題の概要

出題の趣旨

示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容 第4学年 A 数と計算(2)イ(ア)

日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。

評価の観点

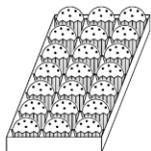
思考・判断・表現(分析・解釈)

(4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。

くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り
85円



Bセット (21個入り)
1470円

1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 85×21 で求めることができます。



くるみ

85×21の答えが1470より必ず大きくなることは、85×21をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

85×21の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

正答

ア

2. 児童の状況 (解答類型抜粋)

	解答類型	大阪府	全国
1	ア と解答しているもの	34.8	34.9
2	イ と解答しているもの	4.8	4.7
3	ウ と解答しているもの	50.6	49.7
6	エ と解答しているもの	8.3	9.3
99	1~9以外の解答	0.6	0.5
0	無解答	0.9	0.8

正答

3に着目

目的に合った概数にして計算する方法を選ぶことができなかったのではないかと考えられる。

「概数にする→四捨五入する」という考えに陥っているのではないかと考えられる。

3. 授業づくりのポイント



概数を使って考えると解決しやすい日常の課題を設定しましょう。

例: 概数を活用して、課題を解決しようとする学習活動を日常の場面から設定する。その際、与えられた課題を解決するだけでなく、日常の中で、課題を発見したり、問題を考えてみたりする活動も取り入れる。



数量の大小について予想させる場面を設定しましょう。

例: 生活経験からの予想にとどまらず、概算による見積もり等、数字を根拠にした予想をたてる学習場面を設定する。



概数にする方法が適切であるかどうかを検討させましょう。

例: 具体的な買い物場面を想定し、その場面に適切な概算法(四捨五入、切り上げ、切り捨て)を筋道立てて検討する学習活動を設定する。

【小学校算数】 2 (3) 二つの数量の関係について考察すること(果汁の割合)

(果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ)

1. 問題の概要

出題の趣旨

示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。

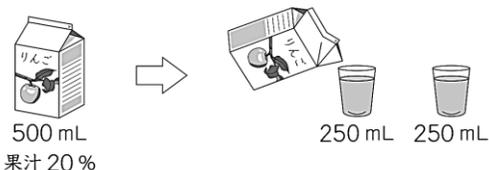
学習指導要領の領域・内容 第5学年 C変化と関係(3)ア(ア)

ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。

評価の観点

知識・技能

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。



250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

正答

3

2. 児童の状況 (解答類型抜粋)

1に
着目

正答

	解答類型	大阪府	全国
1	1 と解答しているもの	67.8	67.7
2	2 と解答しているもの	9.3	9.2
3	3 と解答している	21.3	21.6
99	上記以外の解答	0.5	0.5
0	無解答	1.1	1.0

果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けるとき、飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、同様に果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になると誤って捉えているのではないか。

日常の具体的な場面において、割合に関する数量の関係を正しく捉えられていないのではないかと考えられる。

3. 授業づくりのポイント

- 日常の事象と数学の事象を行き来しながら課題解決への見通しを持つことができる場面を設定しましょう。

例: 日常の事象を解決しようとするときに、ペアやグループ、学級全体などで、事象を数学的な見方・考え方を働かせながら、見通しをもつ場面を設定する。

- 日常生活の中の「割合」を題材とした学習活動を設定しましょう。

例: 「二色の絵の具を混ぜて新しい色を作るとき、再度同じ色を作るためには、二色の絵の具を初めと同じ割合にして混ぜれば良いこと」を体験させるなど、日常の事象において二つの量の関係を表す割合が変わらない事象を体感させる学習活動を設定する。

- 得られた結果について、日常の具体的な場面に当てはめて考察させましょう。

例: 課題解決の答えが何を表しているのか、またその答えから何がわかるのか、など、数学の事象を再度日常の事象に落とし込んで考え、課題解決に繋げる学習活動を設定する。

【小学校算数】 3 (3) 目的に応じてデータの特徴や傾向を捉え考察すること(お楽しみ会・交流会)

(1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ)

1. 問題の概要

出題の趣旨

目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読みとることができるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容 第5学年 D データの活用(1)ア(ア)

円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解すること

評価の観点

知識・技能

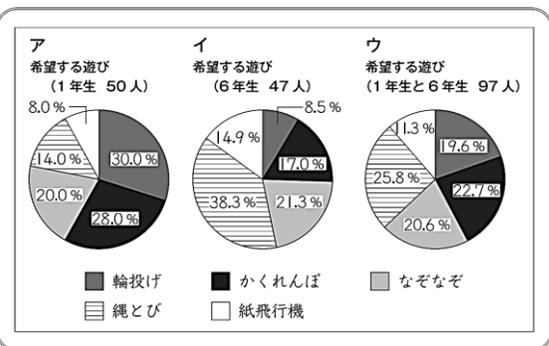
お楽しみ会が終わり、今度は、1年生と交流会をすることにしました。まなみさんたちは、交流会の遊びを1つ決めるために話し合っています。



まなみ

1年生も6年生も楽しめる交流会がよいですね。

(3) まなみさんたちは、まず、1年生といっしょにできる5つの遊びを考えました。次に、1年生と6年生にアンケート調査を行い、5つの遊びの中から希望する遊びを、1人に1つずつ選んでもらいました。アンケート調査の結果は、下のようなグラフになりました。



まなみさんは、交流会の遊びを次のように決めようと考えました。

【まなみさんの考え】

1年生と6年生が希望する遊びの割合を見て、その割合がいちばん大きい遊びに決めるとよいと思います。

【まなみさんの考え】をもとにすると、どのグラフを見ればよいですか。また、どの遊びに決まりますか。

グラフを左の ア から ウ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、遊びを下の5つの中から1つ選んで、書きましょう。

輪投げ かくれんぼ なぞなぞ 縄跳び 紙飛行機

正答

ウ、縄跳び

2. 児童の状況 (解答類型抜粋)

	解答類型		大阪府	全国
	グラフ	遊び		
1	ウ	縄跳び と 解答	66.8	66.8
2	ウ と 解答	輪投げ と 解答	1.3	1.3
3		かくれんぼ と 解答	11.7	12.8
4		なぞなぞ と 解答	2.7	2.4
5		紙飛行機 と 解答	1.3	1.4
6	ア と 解答	類型1から類型5以外の解答 無解答	1.0	1.0
7		縄跳び と 解答	0.4	0.4
8		輪投げ と 解答	2.1	2.2
9	イ と 解答	類型7、8以外の解答 無解答	1.5	1.4
10		縄跳び と 解答	3.7	3.5
11		縄跳び 以外を解答	1.4	1.4
99	上記以外の解			
0	無解答			

正答

1に着目

全国と同じ
正答率

※3(1)・(2)も含めて D「データの活用」領域の正答率は、ほぼ全国と同じ

3. 授業づくりのポイント

✓ 日常生活の事象について、統計的な問題解決の方法で考察する学習活動を設定しましょう。

例:日常生活の問題を解決するために、統計的探究プロセスを複数回、回しながら問題解決をめざす学習活動を設定する。

✓ 得られた結論について、目的に応じて、異なる観点や立場から多面的に考察させましょう。

例:得られた結論の意味や妥当性、問題解決の各段階が適切であったかについて、振り返って考え直す時間を設定する。

✓ ICT端末を効果的に活用してデータを分析し、結果について考察する学習活動を設定しましょう。

例:統計処理ソフトなどを効果的に活用して、結果について考察する時間を確保し、自身の考えを深められるような活動を設定する。

【小学校理科】 2 (4) 粒子に関する問題 (自然の事物・現象を気付きの視点で分析・解釈)

(凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題について書く)

1. 問題の概要

出題の趣旨

自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。

学習指導要領の内容 第4学年 A 物質・エネルギー (2)ア(ウ)
第5学年 A 物質・エネルギー (1)ア(ウ)

【第4学年】

水は、温度によって水蒸気や氷に変わること。また、水が氷になると体積が増えること。

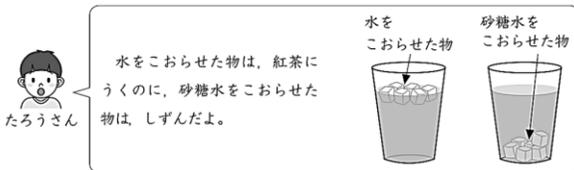
【第5学年】

物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。

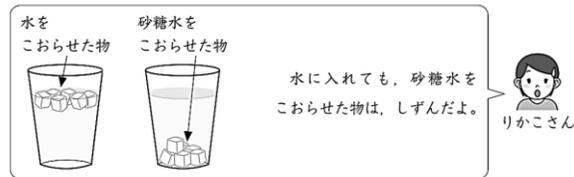
評価の観点

思考・判断・表現(分析・解釈)

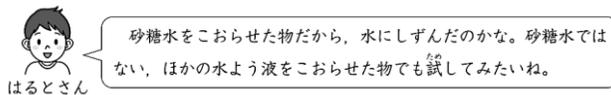
(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶こうちやに入るとしずみました。



はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけました。はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。



正答の条件
砂糖水以外の水溶液を凍らせた物が、水(紅茶)などの液体に、沈む(浮く)のかどうかを問うことを示す趣旨で記述している。



正答例

- ほかの水溶液を凍らせた物は、水に沈むのだろうか。
- ミョウバンを溶かした水溶液を凍らせた物は、水に沈むのだろうか。(準正答)

2. 児童の状況 (解答類型抜粋)

	解答類型	大阪府	全国
1	正答の条件を満たして記述しているもの	29.5	32.7
2	正答の条件を満たしているが、凍らせる水溶液の具体的な溶質の名前を挙げて記述しているもの	5.7	5.2
3	正答の条件を満たしているが、「調べよう」、「やってみよう」「試してみよう」など、行為を目的とする内容で記述しているもの	1.1	1.4
6	水溶液を凍らせた物を対象として、液体に沈む(浮く)現象自体を問うことを示す内容で記述しているもの	7.4	8.3
7	水溶液を凍らせていない物を対象として、液体に沈む(浮く)のかどうかを問うことを示す内容で記述しているもの	12.3	12.1
99	1~9以外の解答	16.3	14.8
0	無解答	10.2	8.7

正答

6と7に着目

現象にのみ着目している。他者の気付きや現象から得た情報の分析・解釈ができていないのではないか。

3. 授業づくりのポイント

- ✓ 他者の気付きを基に分析して解釈する場面を設定しましょう。

例: 自然の事物・現象を自分や他者の気付きを基に、他の学習や生活経験と比較し、その差異点や共通点に気付くことができるような場面を設定する。

- ✓ 子どもたちが問題を見いだしていくような場面を設定しましょう。

例: 子どもたちが、自分の力で問題解決の活動を行えるようになることを意識する。子どもの疑問から、付けたい力に正対する課題を設定する。導入やまとめの中で、自分や他者の気付きを基に、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていくような場面を設定する。

(缶の色とその水の温度を対象として、【問題】に対するまとめから、その根拠について、【結果】を基にして記述する)

1. 問題の概要

出題の趣旨

実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。

学習指導要領の内容 第3学年 A物質・エネルギー(3)ア(ア)(イ)

日光は直進し、集めたり反射させたりできること。
物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わること。

評価の観点

思考・判断・表現(分析・解釈)

6と10に
着目

【結果】

かんの色	時間	0分	20分後	40分後
黒		24℃	28℃	32℃
赤		24℃	27℃	29℃
青		24℃	27℃	30℃
白		24℃	25℃	26℃

【問題】に対するまとめは、「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

はなこさんが、下線部のようにまとめたわけを上【結果】を使って書きましょう。

正答の条件

次の①、②、③、④の全て(準正答②④または①③④)を記述している。

- ① 黒色の缶、または他の色の缶に言及
- ② 時間の経過に言及
- ③ 缶の水の温度に言及
- ④ 温度を比較

正答例

- ・黒色の缶の水の温度は、40分後には32℃で、他の色の缶の水の温度よりも高いから。
- ・黒色の缶の水の温度は、40分後、他の色の缶の水の温度より高いから。(準正答)
- ・黒色の缶の水の温度は32℃で、他の色の缶の水の温度より高いから。(準正答)

2. 児童の状況 (解答類型抜粋)

	解答類型	大阪府	全国
1	①黒色の缶、または他の色の缶に言及 ②時間の経過に言及 ③缶の水の温度に言及 ④温度を比較	9.5	11.2
2	①②④	21.8	22.5
3	①③④	1.3	1.4
6	①④	19.6	19.3
10	結果を用いず、原因を示す	19.5	19.5
99	1~10以外	7.2	6.2
0	無解答	12.9	11.2

正答

実験の結果を用いることができていないのではないかな。
結果(事実)と考え(解釈)を区別すること、結果を示して考えを表現することができていないのではないかな。

3. 授業づくりのポイント

✓ 実験の結果を分析して、解釈する場面を設定しましょう。

例: 観察・実験のまとめの中で、結果と考えを区別し、複数の自然の事物・現象を比較し、その差異点や共通点に気付くことができるような場面を設定する。

✓ 根拠について、結果を基に記述するようにさせましょう。

例: 観察・実験のまとめの中で、結果を具体的な数値として共有し、何を結論の根拠としているのかを明らかにし、より妥当な考えをつくりだす学習活動を設定する。その際、言語活動が充実するよう話し合いの中で、科学的な言葉や概念を使用を促す。

【小学校理科】 4 (4) 地球に関する問題（自然の事物・現象の理解）

（鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く）

1. 問題の概要

出題の趣旨

水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

学習指導要領の内容 第4学年 A物質・エネルギー(2)ア(ウ)
第4学年 B生命・地球(4)ア(イ)

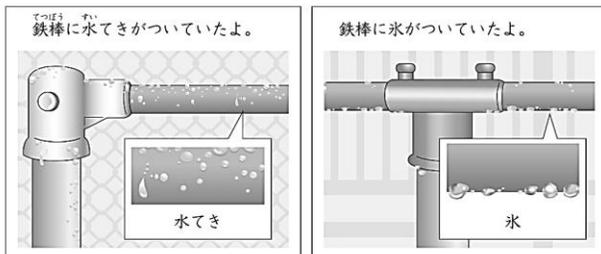
水は、温度によって水蒸気や氷に変わること。また、水が氷になると体積が増えること。

水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと。また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあること。

評価の観点

知識・技能

(4) よしこさんは、インターネットを使って、各地の友達から朝のようすの写真を送ってもらいましたが、その中で2枚の写真が気になりました。



よしこさんは、2つの現象を調べて、次のようにまとめました。

にあてはまることばを書きましょう。

朝、鉄棒に、水てきや氷がついていた。気温が下がり、空気中の が冷やされて、水てきや、水てきになったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「どうる」というらしい。気温のちがいで、異なる現象が起こることがわかった。

正答の条件

水蒸気

(準正答)

蒸発という言葉を用いている
気体に変化した物という内容

正答例

水蒸気

蒸発した水(準正答)

水分、湿気(準正答)

2. 児童の状況（解答類型抜粋）

	解答類型	大阪府	全国
1	水蒸気	32.8	43.1
2	水蒸気という言葉は用いていないが、蒸発という言葉を用いて解答している	0.3	0.3
3	水蒸気という言葉は用いていないが、気体に変化した物という内容で解答している	21.0	18.6
6	水蒸気以外の気体	10.1	7.6
99	1～6以外	26.7	22.5
0	無解答	7.3	6.2

正答

6に着目

問題文の「空気中」という言葉から、既習の内容や生活経験をもとに、空気中に主に含まれる気体を想起したのではないか。

3. 授業づくりのポイント

✓ 学習内容を日常生活と関連付けて考えさせましょう。

例：直接体験の充実を図り、自然の事物・現象どうしを関係付けたり、自然の事物・現象を既習の内容や生活経験と関係付けたりする学習場面を設定する。

✓ 習得した知識を活用して、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉え直すことができる学習場面を設定しましょう。

例：問題解決の活動を通して習得した知識を活用して、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉え直したり、他教科等で学習した内容と関連付けて考える学習場面を設定する。「カリキュラム・マネジメント」を通じて、関係する教科等の内容を把握して、理科の学習で生かせるようにする。